



#29 パパ家事

アラサーパパは、 上手に家事に参加中!

家族と一緒に過ごす時間を大切にしたい。だから、家事も協力しあって、育児にも積極的に参加する…。

近ごろ、そんなパパが増えてきています。家事や育児はママの役割という考え方は、もう過去のスタイル。

社会でも家庭でも男性と女性がボーダレスに力を合わせていくのが、ごく自然なシーンだと言えるでしょう。

ではパパが上手に家事参加するには、どのようなことがポイントになるのでしょうか。

積水ハウス総合住宅研究所の調査・研究をもとに、「パパ家事」の実態や住まいづくりのヒントをご紹介します。

家族で過ごす時間を 何よりも大切にしたい。

できるだけ家族との時間を充実させたい、一緒に過ごすことの楽しみや喜びを満喫したい。そんな「家族ラブ」な思いを強く持つ男性が増えてきています。
特にアラサーパパ(アラウンド30世代)の思いは強く、実際の調査で「家族と過ごす時間が何よりも大切だ」と答えた人が65%以上。他

の世代(アラウンド40世代、アラウンド50世代)に比べて高い割合となっています。
また、単に家族と過ごすことを望むだけでなく、家事にも積極的に参加するのが、アラサーパパの特徴。「家事はできるだけ夫婦ふたりで一緒にしたい」という思いも、他世代パパを引き離して45%を超えています。
アラサーパパは、家族で家事を一緒にすることを含めて、夫婦や親子で豊かなコミュニケーションを育んでいきたいという思いが強いのではないのでしょうか。

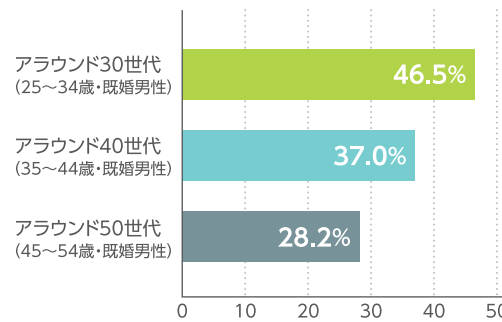
もちろん共働き家族が増えてきている影響も大きいのですが、「パパが仕事を頑張って、ママは家事・育児に力を注ぐ」という従来型の男女の役割分担の考え方が薄れてきているのは事実。これまでの通念に捉われずに行動するジェンダーフリーな暮らし感覚が広まりつつあると言えるでしょう。

パパ家事の定番は、 ゴミ処理・食器洗い・風呂掃除。

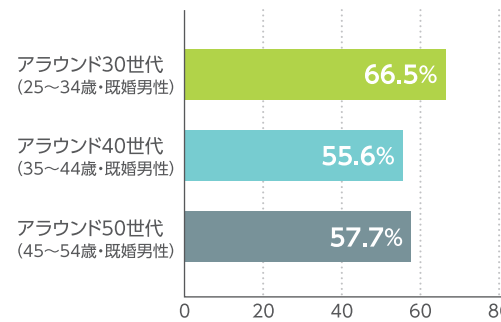
ところで、パパが家事に参加するのは「仕方ないから…」と「しなないとマズイから…」という理由を思い浮かべがちではありませんか。「できればやりたくない」というのがホンネではないかと考える人も少なくないのではないのでしょうか。

ところが今後の家事への取り組み意向を調査してみると、「増やしたい人」が「減らしたい人」を上回るのが本当のところ。意外と思われるかもしれませんが、今や家事は大切な暮らしのひとつとして認識されているのです。
では実際にパパは、普段どのような家事を行なっているのでしょうか。最も多いのが、ゴミ出しやゴミ分別などのゴミ処理作業。次いで食器洗い、風呂掃除を受け持つことが多く、

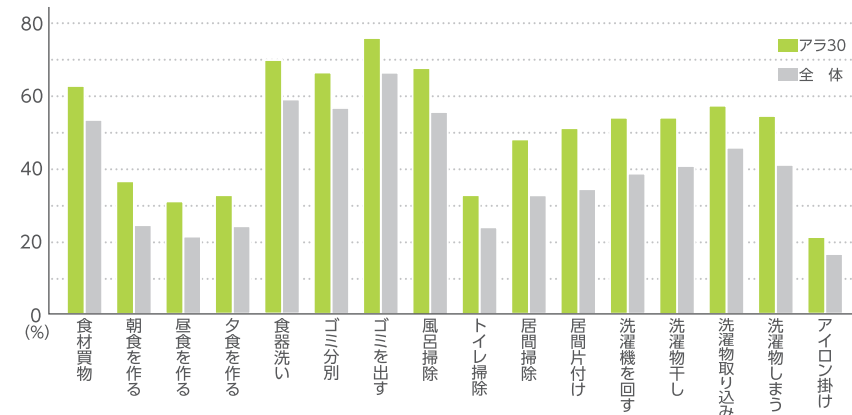
■家事はできるだけ夫婦ふたりで一緒にしたい
既婚男性の暮らしと住まいに関する調査(積水ハウス総合住宅研究所/2017年)



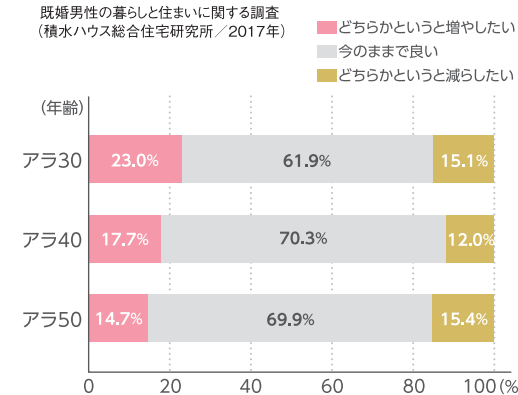
■家族と過ごす時間は何よりも大切だ
既婚男性の暮らしと住まいに関する調査(積水ハウス総合住宅研究所/2017年)



■パパ家事の実態 既婚男性の暮らしと住まいに関する調査(積水ハウス総合住宅研究所/2017年)



■今後の家事への取り組み意向
既婚男性の暮らしと住まいに関する調査(積水ハウス総合住宅研究所/2017年)



これらはほぼ日常的にパパの役割となっているようです。
また、アラサー世代では洗濯家事を得意とするパパが50%を超え、洗う・干す・取り込む・しまうをトータルにこなす人も多いようです。食器洗い、風呂掃除、洗濯など、いずれの家事作業も手間はかかりますが、特別な技術が必要としないのが特徴。現状のパパ家事は労力主体で、経験や技能を要する作業を受け持つようになるまでには、今しばらく時間がかかりそうです。



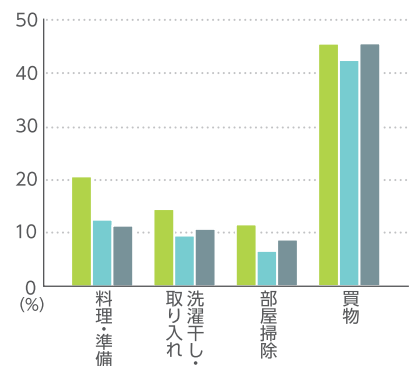
「分担」と「共同」が、 上手な家事協力の秘訣。

家事の協力には、大きく「分担」と「共同」の二つのスタイルがあります。「分担」は一つの家事をパパ(ママ)がまとめて引き受けるスタイル。さきほどお話しした「パパがゴミ処理や食器洗いなどを担当している」というのがその



■夫婦で一緒にする家事は?

既婚男性の暮らしと住まいに関する調査
(積水ハウス総合住宅研究所/2017年)



の代表的な例です。「共同」は、一つの家事を夫婦で一緒に行なうスタイルで、調査結果では「買い物を一緒にする」という夫婦が多いようです。パパとママではそれぞれ得意な分野も異なりますからこの二つのスタイルをバランス良く使い分けて、わが家なりの家事協力の方法を確立するのがおススメです。

また、「見分け」を重視する方が効率的に思えますが、「共同」を上手に組み込むことが将来を見渡した家事協力に有効な面もあります。一緒に作業を行えば、お互いのノウハウを共有することにつながり、じつはパパが

労力家事に加えて技能家事に参加できるようになるための早道にもなるのです。たとえば、調理や掃除などの専門知識やちょっとした工夫を共同作業を通してママからパパへと伝授したり、ママの作業を見ることでパパが手順を覚えたり…。パパができる家事が増えれば、結果的に「分担」できる範囲が広がり、夫婦のどちらでも家事全般を引き受けることができるようになるわけです。

そして住まいを考える上でも、この「分担」と「共同」のスタイルを意識しておくことが大切なポイントになります。

家事を「いえごと」と捉えれば、 パパはますます活躍。

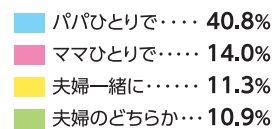
家事と言えば、炊事や洗濯、掃除などをイメージしがちです。でも、もう少し範囲を広げて「家事」の「いえごと」と捉えると、日々の暮らしの中に住まいや家族にかかわるさまざまな仕事が増え、パパの活躍の場も広がります。

たとえば、住まいのメンテナンスや日曜大工、家族写真の整理や動画の編集、年賀状の作成や家族旅行の手配などなど。これらはパパが担当していることが多いのではないのでしょうか。これまでもパパは、色んな「いえごと」



■家族の写真やビデオの整理・編集をするのは?

既婚男性の暮らしと住まいに関する調査
(積水ハウス総合住宅研究所/2017年)



で活躍しているのです。ママ目線の家事もあれば、パパ目線の家事もあることを思い浮かべて、「いえごと」のしやすい住まいづくりを考えてみましょう。

住まいづくりのポイント① 上手に共同作業ができる キッチンの秘訣。

ママが得意で、パパが苦手、夫婦共同で行なうことが多い…。そんな家事の代表的なものがキッチンワークではないでしょうか。もちろん「調理はママ、後片付けはパパ」という明確な分担スタイルもいいですが、パパが調理の腕をあげれば、



家族で囲んで料理しやすいオープンアイランドキッチン。開放感やリビングダイニングとのつながり感も大きな魅力です。(アイランドシティ照葉テラス パークカーサ03/福岡県)



共同作業の行ないやすいセパレートキッチン。調理実験によって、ひとり作業での効率のよさも実証されています。(グラッドメゾン京町堀タワー/大阪府)



ペニンシュラ型のキッチンでも、シンクまわりに作業スペースを多く確保すれば、夫婦や家族で協力しやすくなります。(グラッドメゾン東海岸南/神奈川県)

住まいづくりのポイント② 洗濯家事を テキパキこなせる工夫。

パパが受け持つことも多いのが洗濯家事。洗濯は、洗って、干して、取り込んで、たたんで、しまつとさまざまな作業が続くのが特徴で、効率よく済ませるには住まいの中の動線に配慮することが大切になります。

ほとんどのマンションでは、洗濯スペースと物干しスペース(バルコニー)が1フロアでつながっている。比較的スムーズな動線が確保できているはず。だから「取り込んで、たたんで、しまつ」という後半作業に重点をおいて工夫するのが有効です。



天井内蔵型の洗濯物干しパーなら、普段は天井に収納できるので邪魔になりません。省スペースで使い勝手の良いスグレモノです。



床を高くして下部を収納にしたリビング脇の和室。畳座とソファ座の目線が合いやすく、洗濯物をたたみながらの会話も弾みます。(グラッドメゾン猫洞通ヒルズ/愛知県)

住まいづくりのポイント③ 「いえごと」を応援する デジ家事ステーション。

写真整理や動画編集、年賀状作成や家族旅行の手配など、パパの得意な「いえごと」を応援するのが「デジ家事ステーション」です。

リビングなどのコーナーに小さな専用スペースを設けて、パソコン作業やデスクワークのできるカウンターを設置。収納棚を配置すれば、「いえごと」にかかわる書類や家族のアルバムなどもまとめてしまつておくことができます。パパの好みの雰囲気やミニ書斎風のスペースに仕上げれば、家族のための仕事もますます積極的になつてくれそうです。

さらに「デジ家事ステーション」は、ママがレシピ検索やネットショッピング、家計簿つけなどの事務作業をするときにも便利。夫婦や家族が共同で活用できるスペースになります。

また、シンクとコンロのカウンターを背中合わせに配置した「セパレートキッチン」もおススメです。食材の下準備や水を使った作業をシンク側のカウンターで行ないながら、もう一方のカウンターで加熱調理や盛り付けをすることができ

それぞれのワークスペースを分けることができるので、夫婦で同時にキッチンに立つて協力しながらの調理がスムーズです。



室内のくぼみを活用すれば、適度な囲われ感が生まれて集中して作業できるスペースになります。



広々としたワンルームLDKの一角に設けたデジ家事ステーション。書斎風に仕上げれば、パパの気分もアップしそうです。(グラッドメゾンガーデンシティ小倉/福岡県)



キッチンカウンターと連続するように設けたデジ家事ステーション。レシピ検索や家計簿つけなど、ママ家事にも便利に使えます。(グラッドメゾン平尾VINX/福岡県)